

2024年5月2日

主催 一般社団法人 日本地質学会中部支部

共催 一般社団法人 日本応用地質学会中部支部

日本地質学会中部支部 2024 年支部年会開催のお知らせ

日本地質学会中部支部では下記のとおり 2024 年支部年会を開催します。あわせて研究発表会（シンポジウム、一般講演）、懇親会、および巡検を行いますので、皆様ぜひご参加ください。

日時：2024 年 6 月 22 日（土）・23 日（日）

6月22日（土）

受付開始	10：30
総会	11：00～11：30
幹事会	11：30～12：30
研究発表会	
※シンポジウム	13：00～15：30
※一般講演（口頭発表）	15：40～16：40
※ポスターコアタイム	16：45～17：45
懇親会	18：00～20：00

6月23日（日）

巡 検	8：00～16：30
-----	------------

研究発表会（共催：日本応用地質学会中部支部）

会場：富山大学五福キャンパス

参加費：2000 円（総会のみは無料，大学院生・学部生は 1000 円）

参加要件：日本地質学会会員または日本応用地質学会会員であること。

事前登録：6 月 13 日（木）までに google forms (<https://forms.gle/xf9RJgkNPkfo1v1B9>) にて参加登録・発表申し込みをしてください。巡検（6 月 23 日）に参加する方は 5 月 31 日（金）までに登録してください（後述）。

※シンポジウム『令和 6 年能登半島地震とその被害』

趣旨：令和 6 年能登半島地震では、大規模な海岸隆起や斜面崩壊などが発生し、能登半島北部から中部を中心に大きな被害をもたらされた。また、石川、富山、新潟などでは液状化による被害、日本海沿岸の広い範囲では津波による被害を受けた。本シンポジウムでは、地震発生以降、緊急調査や救援活動などを行なっている専門家から現地の状況等を紹介いただき、

能登半島地震の特徴や被害の状況について知る機会とする。(尚、詳細については、全てが調整でき次第お知らせいたします。)

1. 安江健一 (富山大学)：趣旨説明
2. 平松良浩 (金沢大学)：能登半島の地震活動と令和6年能登半島地震
3. 石山達也 (東京大学)：能登半島周辺の活構造と地殻構造
4. 塚脇真二 (金沢大学)：令和6年能登半島地震の土砂災害とその応用地質学的な特徴 ～とくに地質遺産の被災状況について～
5. 呉 修一 (富山県立大学)：令和6年能登半島地震による富山沿岸部の津波調査・解析報告
6. 立石 良 (富山大学)：水中ドローンを用いた2024年能登半島地震に伴う富山湾内の海底地すべり調査
7. 総合討論

※一般講演 (口頭発表：15：40～16：40)

- ・最大4件を受け付けます。先着順ですので、希望される方は早めに上記事前登録フォームにて、発表者氏名と発表タイトルを入力してください。
- ・口頭発表は、対面のみで行い、各講演15分を予定しています(発表12分、質疑応答3分)。

※一般講演 (ポスター発表：コアタイム 16：45～17：45)

ポスターは10：30～17：45の間掲示することができます。ポスター発表希望者は上記事前登録フォームにて、発表者氏名と発表タイトルを入力してください。

なお、学生・院生の一般講演(口頭発表・ポスターとも)は優秀発表賞の審査の対象となりますので、ふるってご参加ください。

講演要旨：

- ・一般講演(口頭・ポスター共)に申し込まれる方は上記の事前登録フォームに申し込みの上、講演要旨を、なるべくMS-Word形式の電子ファイルで安江(toyama-geo@sus.u-toyama.ac.jp)へメール添付にて送付願います。締切は6月16日(日)とさせていただきます。
- ・講演要旨は日本地質学会のウェブサイトで公開し、引用できるようにする予定です。公開する際には、二重投稿や著作権侵害とならぬよう、内容についてご相談することがございます。
- ・一般講演の講演要旨はA4版、2頁までとします。
- ・要旨の様式は下記書式に沿ってください。お送り頂いたメール原稿をそのままの形で印刷する予定です。フォントは游明朝で統一してください。
- ・上下余白：3 cm 左右余白：2.5 cm
- ・タイトル：14 p (ポイント) 太文字
- ・発表者・所属機関：12 p
- ・英文タイトル：12 p
- ・本文は1行開けて始めてください。

- ・本文：10.5 p
- ・引用文献：9 p
- ・図表は枠内に収めてください。
- ・英文原稿の場合は、上記に準じてください。

CPD：地質技術者への継続教育の一環として、大会参加者・発表者へ CPD 単位を発行します。
大会参加と口頭発表の参加証明書は、参加日以降にメールにて送付予定です。

【CPD 単位】

- ・一般講演：5×発表時間 (h) 例) 15 分の場合：5×1/4 h=1.25 単位
- ・研究発表会参加：1×滞在時間

懇親会 (18：00～20：00)

懇親会を富山大学五福キャンパス内で行う予定です。懇親会費は一般 5000 円、大学院生・学部生は 3000 円を予定しています。

巡検：能登半島地震に伴う地変の視察 (共催：日本応用地質学会中部支部)

日時：6月23日(日) 8：00～16：30 (予定)

内容：富山市から石川県輪島市門前町(能登半島西岸)までのルートで、令和6年能登半島地震に伴う地変と地質露頭の現状を視察する。

案内者：安江健一・立石 良(富山大学)

問合せ：安江健一(富山大学) toyama-geo@sus.u-toyama.ac.jp

参加費：1人5000円程度(参加人数によって若干の変更があります)

- ・大まかな予定は、8：00 富山駅北口→巡検(貸切バス)→16：30 富山駅です。
- ・昼食は各自ご準備願います。
- ・参加希望者は google forms (<https://forms.gle/xf9RJgkNPkfo1v1B9>) にて 5月31日(金)までに参加登録をしてください。
- ・参加者が15名以下の場合、キャンセルすることもあります。
- ・定員：27名(先着順受付)

詳しくは、日本地質学会中部支部 HP をご覧ください。

<https://geosociety.jp/outline/content0019.html#2024nenkai>